

## 【令和7年度入試の出題意図・ねらい・解答例】

### 全体

国際関係論の根本的な関心は、平和の問題である。国家間の関係を三つのレベルの関係がからみあった複雑な関係と整理し、単純な思考法で平和の問題に取り組むことをいさめた課題文を読み、基礎学力、読解力、論理的な思考力、および国際関係に対する関心と知識をはかることをねらう出題とした。

### 設問1

#### 【出題意図・ねらい】

「平和に対する単純な態度」に関する著者の議論を的確に整理し、記述できるかを問う。

#### 国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点

- ・《求める人材》1（2）の「日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を見る。
- ・《高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと》2の「まとまった分量のある日本語の文章を筋道立てて読み解く力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を見る。

### 設問2

#### 【出題意図・ねらい】

国家間の平和の問題に関して知っている事例を紹介させることで、国際関係に関する興味関心や知識、および的確な文章力があるかを問う。

#### 国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点

- ・《求める人材》1（1）の「国際関係コースの専門分野を学ぶために必要となる、世界や日本の近代・現代社会についての基礎的な知識及び教養」を見る。
- ・《求める人材》1（2）の「日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を見る。
- ・《求める人材》2（1）の「北東アジアをはじめとする国際社会や、グローバル化が進む日本国内の社会が抱える諸課題について、根拠に基づき論理的な筋道を立てて考察し、自らの意見を説得力のある形でまとめ、他者に伝える力」を見る。

・《高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと》2の「まとまった分量のある日本語の文章を筋道立てて読み解く力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を見る。

### 設問3

#### 【出題意図・ねらい】

著者の主張を読んだ上で、島根県立大学国際関係学部国際関係コースで学びたいことを説明させることで、国際関係に関する興味関心や知識、および的確な文章力があるかを問う。

#### 国際関係コースのアドミッション・ポリシーに基づいた評価の観点

・《求める人材》1（2）の「日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力」を見る。

・《求める人材》2（1）の「北東アジアをはじめとする国際社会や、グローバル化が進む日本国内の社会が抱える諸課題について、根拠に基づき論理的な筋道を立てて考察し、自らの意見を説得力のある形でまとめ、他者に伝える力」を見る。

・《高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと》4の「地理歴史・公民の知識を総合的に関連づけて問題関心を養い、自己の体験総体を生かして幅広い視野から日本及び世界で生じている複雑な社会現象を考察しようとする意欲」を見る。